

タフロック60工法のご案内 ケーブル貫通部の防火措置工事が大きく変わります。

- **法規の改正に伴い材料も工事方法も大きく変わります。**

耐火ブロック工法の採用により、作業中の粉塵、ゴミが出ません。梱包材のダンボール箱以外、全て使用材料です。

- **材料の無駄がありません。**

サイズの違い、必要量の誤り、に対して後で修正が可能です。開口部に対するケーブルの敷設量で耐火ブロックの必要量の違いがありますが、その箇所でも余っても次の箇所で使用できます。

不足の場合は新しいキットから充当でき、最終必要量が判った時点で修正分の必要量をお求め下さい。無駄が生じません。

- **床・壁兼用です。**

床・壁兼用なので、開口の大きさだけ確認すれば発注出来ます。

- **材料が従来工法の1/3の重さで、作業が大変楽で、安全です。**

材料が軽いので搬入時の持ち運びが楽で、(ケイカル板工法が29kgに対して耐火ブロック工法は9kgです) 高所の作業では特に軽さが実感できます。

ブロックの中身はセラミック綿なので、万一落としても割れたりしません。

- **改修工事が大変に楽です。**

追加通線作業でも、詰め込んだ耐火ブロックの解体作業が楽な為、通線作業が大変に楽に行えます。

- **材料に無駄が出ないので、経済的な工法と実感できます。**

棄てる材料が出ない分だけコスト削減となり、従来の様な無駄なコストは追放できます。

PS060 FL-0048
PS060 FL-0049



PS060 WL-0017
PS060 WL-0018



PS060 FL-0050
PS060 WL-0051

